

保育園の統合・民営化の取り組み 状況をお知らせします。

田原 市では、市総合計画に基づき、保育園の統合および民営化に取り組んでいます。

◆統合について

田原市の子ども数は、緩やかな減少傾向にあります。幼少期は多くの人と交わることで社会性や協調性が育まれる大切な時期ですので、保育園(こども園)は適正な保育集団規模を確保することが求められます。

また、市内のほとんどの保育園園舎は建設から40年近くが経過し、老朽化が進んでいるため、建て替えが必要になってきています。

これらの課題に対して、3歳以上

過去の統合例

伊良湖岬保育園 (定員150人)
平成19年度に堀切保育園と和地保育園を統合

稲場保育園 (定員180人)
平成27年度に加治保育園と南部保育園を統合

児が50人に満たない小規模園については、隣接する保育園と統合し、順次施設の建て替えを行うことで課題の解決を図っていきます。なお、建て替えに際しては、施設の充実とともに長時間保育や受入月齢の引き下げなどの保育サービスの充実を併せて図ります。

◆民営化について

民営化は、民間事業者(学校法人や社会福祉法人)の持つ機動性や柔軟性を生かした多様な保育ニーズへの対応が期待でき、市内の未就学児への教育・保育の取り組みの活性化に

つながります。平成26年度に民営化した漆田保育園は、保護者アンケートで非常に高い評価を得ています。なお、民営化しても、保育料は公立保育園と変わりません。

◆北部保育園と山北保育園の統合および民営化について

現在、保育環境の向上のため、北部保育園と山北保育園を統合し、平成32年4月を目標に、民間事業者が運営する認定こども園を山北保育園の跡地に新たに建設する取り組みを進めています。

保育園の統合および民営化は、田原市の将来を担う子どもたちが健康やかに成長できるように、より良い保育環境を提供することを目指して行っています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



▼子育て支援課 ☎23 3513



▲新こども園の開園予定地となっている山北保育園

今後のスケジュール

- 平成29年度
 - 移管法人の募集
 - 山北保育園募集停止
- 平成30年度
 - 北部保育園での統合保育開始
- 平成31年度
 - 山北保育園解体撤去
- 平成32年4月
 - 新しい園舎の建設
- 新こども園の開園